

亭主は退職後、家庭内就職で“新入社員”になる。

「ワシは馬車馬のように働いてきたんだ!。誰のお蔭だと思っているのだ!」。しかしあなたはやってはいけない地雷を踏んでしまったことになる。家庭では勤続何十年という女房が現役社長を務めている。「結婚以来、だれが家庭を守ってきたと思っているの!」と逆襲されるのがオチである。あなたは家では役にたたず、動物園の熊のごとくエサをもらって静かに余生を送る、世話のやける新入社員である。

